

令和6年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和7年3月31日現在)

氏 名 小松崎 明

学 位 博士(歯学)

1. 研究テーマ

(和文名)

1. 地域歯科保健活動の効果的実施方法の開発及び評価に関する研究
2. 地域歯科保健の基盤となるデータの構築に関する研究

(英文名)

1. The evaluation of a community-based oral health care program for prevention effectiveness
2. A field study of oral health public services associated with health promotion

2. 今年度の研究計画

主に以下のようなテーマについての研究活動を実施する予定である

- ・健康の社会的決定要因に関する因果構造モデルの構築
国民生活基礎調査匿名データファイルを活用した分析
- ・地域保健医療資源の効率的活用に関する研究
第6回 NDB データ(都道府県単位)公表ファイルを活用した分析
- ・赤外線サーモグラフィと小型 NIRS を活用した機能評価指標の開発
前年度交付の科研費課題の結果報告を含む関連研究
- ・効果的な地域保健活動、母子保健活動、学校保健活動に関する検討
新潟県学校保健会による委託研究等
新発田市歯科医師会と連携した成人歯科検診データの関連研究

3. 対外的活動(学外講義・学会活動など)

1) 他大学での講義

予定なし

2) 学会活動(査読、理事、評議員など)

日本口腔衛生学会 代議員、口腔衛生学会雑誌編集委員【指導医、専門医】
甲信越北陸口腔保健研究会 幹事
日本歯科医療管理学会 代議員【認定医】
日本芸術療法学会 会員

3) 公的な委員会等

厚生労働省歯科医師試験委員
新潟県歯科保健医療対策委員会委員
新潟県よい歯の学校園運動審査委員会委員

4. 研究業績

A 著 書

1. 小松崎 明 (共著・監修): 小松崎 明, 藤井一維, 浅沼直樹, 大島克郎, 永田英樹監 : 歯学生のための健康科学. 4 版, 一世出版株式会社, 東京, 2025. ISBN 978-4-87078-212-9.

B 原 著

1. Komatsuzaki A, Ono S, Mitomi K, Arashi K, Enoki Y, Seino K, Komatsuzaki N (7th) (8 authors). A Study of the Factors Impeding Proper Dietary Habits: An Investigation Using the Japanese Comprehensive Survey of Living Conditions. ☆◎◇Clin Pract. 2024; 14: 2245-2255. doi : 10.3390/clinpract14060176.
2. 榎 志佳, 小松崎 成, 三富加奈子, 清野可那子, 関口博一, 小松崎 明, 小野幸絵 (7th) (7 authors). ストレスによる心身への影響に関する因果構造モデルの検討: 国民生活基礎調査匿名データによる考察. ○日本口腔保健学雑誌. 2024; 14: 17-26. doi : 10.32303/jnohs.14.1_17.
3. 元井志保, 長谷川 優, 嵐 聖芽, 煤賀美緒, 浅沼直樹, 小松崎 明. 歯科衛生学生の職業アイデンティティ形成に対する医療職に従事する近親者の有無の影響. ○全国大学歯科衛生士教育協議会雑誌. 2025; 14 号: 46-56.

C 総 説・解 説

記載事項なし

D 報 告(臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等)・紀 要

1. 小松崎 明. Interview 日本歯科大学新潟短期大学歯科技工学科 新設 学長 小松崎 明氏に聞く「学・術・道を兼ね備えた歯科技工士を養成する」. 歯科技工. 2025; 53: 167-169.
2. 小松崎 明. オズボーン教授の論文が招く「歯科技工士がなくなる」という誤った風説. 日本歯科新聞. 2025; 第 2333 号:
3. 小松崎 明, 鴨田剛司, 小野幸絵. 新発田市成人歯科健診データ分析報告書.

E 翻 訳

記載事項なし

F 学術大会(口演・ポスター発表)・講演会・研修会・研究会等での講演

1. 小松崎 明, 小野幸絵, 元井志保, 煤賀美緒. フッ化物歯面塗布の保険請求状況の地域差に関する検討:NDB オープンデータによる都道府県間の比較. 第 73 回日本口腔衛生学会学術大会, 盛岡市, 2024 年 5 月 10~12 日
2. 小松崎 明, 小野幸絵, 元井志保, 煤賀美緒. フッ化物歯面塗布の保険請求状況の地域差に関する検討:NDB オープンデータによる都道府県間の比較. 第 73 回日本口腔衛生学会学術大会, 盛岡市, 2024 年 5 月 10~12 日

3. 嵐 聖芽, 小松崎 明, 榎 志佳, 清野可那子, 小野幸絵, 浅沼直樹, 加藤千景, 元井志保, 煤賀美緒, 鴨田剛司. 地域高齢者を対象とした口腔機能向上をテーマとする保健活動の展開. 令和 6 年度日本歯科大学歯学会大会・総会, 東京都, 2024 年 6 月 2 日
4. 小松崎 明. 少子高齢化時代の口腔衛生学・予防歯科学のパラダイムシフト. 福島県日本歯科大学校友会総会, 福島市, 2024 年 6 月 22 日
5. 小松崎 明, 小野幸絵. お口の健康のお話 ～オーラルフレイルについて～. 令和 6 年度菅谷地区保健自治会健康講話, 新発田市, 2024 年 8 月 4 日
6. 小松崎 明. 講話 オーラルフレイル予防（口腔機能低下について） 唾液腺マッサージの効果. 西園町 3 丁目保健自治会 健康づくり活動 講演会, 新発田市, 2024 年 9 月 26 日
7. 小松崎 明, 小野幸絵, 八木 南, 榎 志佳, 清野可那子, 小松崎 成, 嵐 聖芽, 鴨田剛司. 唾液腺マッサージ指導や咀嚼訓練を主体とした口腔機能向上事業の展開. 令和 6 年度甲信越北陸口腔保健研究会第 35 回総会・学術大会, 新潟市, 2024 年 10 月 26 日
8. 高橋 咲, 榎 志佳, 清野加那子, 小松崎 明. 頬部体温の変化と口腔機能との関連性についての研究. 第 56 回歯科衛生研究会, 新潟市, 2025 年 2 月 19 日
9. 高橋 咲, 榎 志佳, 清野加那子, 小松崎 明. 頬部体温の変化と口腔機能との関連性についての研究. 第 56 回歯科衛生研究会, 新潟市, 2025 年 2 月 19 日

G 特別講演・シンポジウム等での講演
記載事項なし

令和6年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動現状報告

(令和7年3月31日現在)

氏 名 浅沼 直樹

学 位 歯学博士

1. 研究テーマ

1) 有床義歯装着者の口腔機能に関する研究

Study on oral function of denture wearer

2) スポーツマウスガードの製作基準の検討

Examination of standard fabrication method for sports mouthguard

3) 口腔乾燥症患者の唾液タンパク質の解析

Analysis of salivary protein on oral dryness patient

2. 対外活動（学外講義・学会活動など）

1) 他大学での講義

記載事項なし

2) 学会活動（査読、理事、評議員など）

1. 日本歯科医学教育学会代議員
2. 日本補綴歯科学会関越支部 理事
3. 日本全身咬合学会 理事
4. 日本口腔保健学雑誌査読委員
5. 新潟口腔ケア研究会世話人
6. 全国大学歯科衛生士教育協議会 理事

3) 公的な委員会等

1. 新潟市介護認定審査会委員
2. 一般財団法人大学・短期大学基準協会 認証評価連絡調整責任者
3. 一般財団法人大学・短期大学基準協会 認証評価審査員
4. 高等教育コンソーシアムにいがた 教育連携部会委員

4) 主催学会等

記載事項なし

3. 研究業績

A 著 書

1. 小松崎明, 浅沼直樹, 井口（秋山）麻美, 高塩智子（分担）: Chapter7 全身と口腔の関連, 小松崎明, 藤井一維, 浅沼直樹, 大島克郎, 永田英樹

監修, 歯学生のための健康科学 4 版, 一世出版, 東京, 2025, 978-4-87078-212-9

B 原 著

1. Suzuki T, Asanuma N, Watarai Y, Mizuhashi F: Relationships between maxillofacial morphology and oral function on the habitual and non-habitual chewing sides, ☆◎J Adv Prosthodont, 2024;16:278-289, doi10.4047/jap.2024.16.5.278 (学位論文)
2. 元井志保, 長谷川優, 嵐 聖芽, 煤賀美緒, 浅沼直樹, 小松崎明, 歯科衛生学生の職業アイデンティティ形成に対する医療食に従事する近親者の有無の影響, 全国大歯衛生士教協会誌, 14 巻, 46-56, 2025.

C 総説・解説

記載事項なし

D 報告 (臨床・症例等)・紀要

1. Yoshimura K, Tsuchida S, Asanuma N, Iwasaki S, Yamagiwa S. Comparative Evaluation of Super-Resolution Processed Image Quality of Lingual Mucosal Images by Generative Adversarial Network. J Hard Tissue Biol, 2024;33:219-231.
2. 浅沼直樹: ハノシゴトフェスティバル 2024 を開催, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 50, 44, 2024.
3. 浅沼直樹: 学校紹介 日本歯科大学新潟短期大学 歯科技工学科, 日本歯科技工学会雑誌, 第 46 巻 1 号, 2025

E 翻 訳

記載事項なし

F 学術大会 (口演・ポスター発表)・講演会・研究会・研修会等での講演

1. 渡會侑子, 浅沼直樹, 鈴木達大, 川名桃香, 永田琴乃, 水橋 史: 非接触型三次元形状計測装置を用いた鼻下点・オトガイ間距離の正面観と側面観の検討, 公益社団法人日本補綴歯科学会第 133 回学術大会, 千葉市, 2024 年 7 月 6 日.
2. 永田琴乃, 浅沼直樹, 渡會侑子, 鈴木達大, 川名桃香, 水橋 史: 全顎堤吸収量の差が口腔内スキャナーを用いた咬合採得に与える影響, 公益社団法人日本補綴歯科学会第 133 回学術大会, 千葉市, 2024 年 7 月 6 日.

3. 川名桃香, 浅沼直樹, 渡會侑子, 鈴木達大, 永田琴乃, 水橋 史: 上顎無歯顎における口腔内スキャナーによる印象採得方法の検討, 公益社団法人日本補綴歯科学会第 133 回学術大会, 千葉市, 2024 年 7 月 6 日.
4. 鈴木達大, 浅沼直樹, 渡會侑子, 川名桃香, 永田琴乃, 水橋 史: 習慣性咀嚼側と非習慣性咀嚼側における口腔機能と基準平面との関係性, 公益社団法人日本補綴歯科学会第 133 回学術大会, 千葉市, 2024 年 7 月 7 日.
5. 元井志保, 長谷川優, 煤賀美緒, 嵐 聖芽, 土田智子, 宮崎晶子, 浅沼直樹: 歯科衛生学生の職業アイデンティティ形成に与える影響-医療に従事する近親者の有無の比較-, 日本歯科衛生学会第 19 回学術大会, 新潟市, 2024 年 9 月 22 日
6. 鈴木達大, 浅沼直樹, 渡會侑子, 川名桃香, 永田琴乃, 新妻智憲, 水橋 史: 咀嚼側における臼歯の咬合力と咬合接触面積の評価, 一般社団法人日本スポーツ歯科医学会第 35 回総会・学術大会, 大阪市, 2024 年 10 月 13 日.
7. 永田琴乃, 浅沼直樹, 渡會侑子, 鈴木達大, 川名桃香, 新妻智憲, 水橋 史: 顎堤吸収量の差が口腔内スキャナーを用いた咬合採得に与える影響, 一般社団法人日本スポーツ歯科医学会第 35 回総会・学術大会, 大阪市, 2024 年 10 月 13 日.
8. 川名桃香, 浅沼直樹, 渡會侑子, 鈴木達大, 永田琴乃, 新妻智憲, 水橋 史: 上顎無歯顎における口腔内スキャナーによる印象採得の歪み方, 一般社団法人日本スポーツ歯科医学会第 35 回総会・学術大会, 大阪市, 2024 年 10 月 13 日.
9. 新妻智憲, 浅沼直樹, 渡會侑子, 鈴木達大, 永田琴乃, 水橋 史: 硬さの異なるガムの咀嚼が唾液アミラーゼ活性値に与える影響, 一般社団法人日本スポーツ歯科医学会第 35 回総会・学術大会, 大阪市, 2024 年 10 月 13 日.
10. 三富加奈子, 関口博一, 加藤千景, 長谷川優, 浅沼直樹, 吉村 建, 土田智子, 宮崎晶子, 小松崎明: 高校生を対象とした新潟短期大学歯科技工学科志望調査の結果について, 日本歯科大学新潟短期大学第 56 回歯科衛生研究会, 新潟市, 2025 年 2 月 19 日.
11. 吉村 建, 土田智子, 山際伸一, 浅沼直樹: LED 励起によるバイオフィルム傾向検出に関する予備的研究, 日本歯科大学新潟短期大学第 56 回歯科衛生研究会, 新潟市, 2025 年 2 月 19 日.

G 特別講演・シンポジウム等での講演
記載事項なし

令和6年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和7年3月31日現在)

氏 名 今井 あかね
学 位 博士(歯学)

1. 研究テーマ

- 1) (和文名) 唾液中エクソソームの分離と同定
(英文名) Isolation and identification of exosomes in saliva
- 2) (和文名) 口腔内微生物に対する海藻由来多糖体の影響について
(英文名) Effects of fucoidan on oral microorganisms
- 3) (和文名) 唾液中細胞外小胞のプロテオーム解析
(英文名) Proteome analysis of salivary extracellular vesicles
- 4) (和文名) インプラントの長期安定を目指した新規標的受容体 TRPV1
による骨代謝調節法の開発
(英文名) Development of a method to regulate bone metabolism by
targeting the novel receptor TRPV1 for long-term implant stability
- 5) (和文名) ヒノキチオールによるカンジダ菌抑制メカニズムについて
(英文名) Candida inhibition mechanism by hinokitiol
- 6) (和文名) ヒトとペットにおける歯周病原菌の伝播に関する研究
(英文名) Study in periodontal pathogens zoonosis between
companion animals and their owners
- 7) (和文名)
(英文名)

2. 今年度の研究計画

- 1) 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C) (継続), 納豆菌
B.subtilis の口腔医療(齲蝕制御)への新たな有用性の証明 (課題番号;
22K10043), 岡 俊哉 (代表), 新井恭子, 今井あかね (分担), 2024 年度
直接・間接経費; 910 千円 (総額 4,160 千円)
- 2) 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C) (継続), 健康寿命延伸の
ための口腔カンジダ症抑制方法の開発—漢方生薬ヒノキチオールに着目
(課題番号; 23K09470) 福井佳代子 (代表), 二宮一智, 今井あかね (分
担), 原 基, 2024 年度直接・間接経費; 1,560 千円 (総額 4,680 千円)
- 3) 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C) (新規), インプラントの
長期安定を目指した新規標的受容体 TRPV1 による骨代謝調節法の開発

(課題番号 ; 24K12989) 辻村麻衣子 (代表), 中原 賢, 今井あかね (分担), 2024 年度直接・間接経費 ; 2,210 千円 (総額4,420 千円)

- 4) 唾液ペプチドおよび唾液エクソソーム含有タンパク質の検索
- 5) ヒトとペットにおける歯周病原菌の伝播に関する研究 (専攻研究指導)
- 6) 舌清掃による舌乳頭の形態と血管面積率の変化に関する研究 (専攻研究指導)
- 7) ハチミツによる口腔内細菌への抗菌作用について (専攻研究指導)
- 8) ホルダー付きデンタルフロスの保管法に関する研究 (専攻研究指導)
- 9) 舌苔が全身に及ぼす影響と舌苔除去による口臭抑制方法について (専攻研究指導)
- 10) 第 56 回歯科衛生研究会運営 (実行委員長)

3. 対外的活動 (学外講義・学会活動など)

1) 他大学での講義

- (ア) 日本歯科大学新潟生命歯学部における講義 (第 2 学年生化学, 第 2 学年生体機能調節学)
- (イ) 日本歯科大学新潟生命歯学部における実習 (第 3 学年分子生命科学実習)
- (ウ) 明倫短期大学歯科衛生士学科における講義 (生命現象の科学)
- (エ) 日本歯科大学新潟生命歯学部大学院における共通授業 (実習)

2) 学会活動 (査読、理事、評議員など)

- (ア) 日本唾液腺学会 理事
- (イ) 歯科基礎医学会 代議委員
- (ウ) 日本生化学会 評議委員
- (エ) 日本歯科大学歯学会 評議委員
- (オ) Odontology における査読 (2 編)
- (カ) Journal of Oral Biosciences における査読 (1 編)
- (キ) 日本口腔保健学雑誌における査読 (2 編)

3) 公的な委員会等

- (ア) 高等教育コンソーシアムにいがた教育連携部会委員
- (イ) 新潟市入札等評価委員会委員
- (ウ) 新潟市水道局入札等評価委員会委員

4 研究業績

A 著 書

記載事項なし

B 原 著

記載事項なし

C 総 説・解 説

記載事項なし

D 報 告（臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等）・紀 要

1. 榎 志佳, 宮崎晶子, 今井あかね, 風船トレーニングによる口唇閉鎖力および舌圧に対する影響. ○◇日本口腔保健学雑誌. 2024; 14: 90－95.

E 翻 訳

記載事項なし

F 学術大会（口演・ポスター発表）・講演会・研修会・研究会等での講演

1. 岡俊哉, 螺良修一, 今井あかね, オーラルヘルスケアへの有用性を示す海藻由来薬効成分フコイダンの特性 第 66 回歯科基礎医学会学術大会（ポスター発表）長崎市, 2024 年 11 月 2～4 日
2. 諸田都雅, 三輪陽菜多, 今井あかね, 飼い主とペットの間で歯周病原性菌の潜在的感染はあるのか? 第 97 回日本生化学会大会（ポスター発表）横浜市, 2024 年 11 月 6～8 日
3. 清野可那子, 宮崎晶子, 今井あかね, 視覚刺激および視聴覚刺激を用いた唾液分泌促進法の検討 第 68 回日本唾液腺学会総会・学術集会（口演）東京, 2024 年 12 月 7 日
4. 大島夕佳, 大森みさき, 加藤千景, 宮崎晶子, 今井あかね, 舌苔が全身に及ぼす影響と舌苔除去による口臭抑制方法について 第 56 回歯科衛生研究会（口演）新潟市, 2025 年 2 月 19 日
5. 片桐千優, 吉村 建, 土田智子, 今井あかね, 舌清掃による舌乳頭の形態と血管面積率の変化に関する研究 第 56 回歯科衛生研究会（口演）新潟市, 2025 年 2 月 19 日
6. 諸田都雅, 今井あかね, ヒトとペットの *P. gulae* および *P. gingivalis* の保菌状況～ふれあい方によって人獣共通感染症を回避できるのか～ 第 56 回歯科衛生研究会（口演）新潟市, 2025 年 2 月 19 日
7. 竹田璃世, 土田智子, 嵐 聖芽, 今井あかね, 三上正人, 国産純粋ハチミツとマヌカハニーによる口腔内細菌への抗菌作用について 第 56 回歯科衛生研究会（口演）新潟市, 2025 年 2 月 19 日

8. 小林彩乃, 三上正人, 今井あかね. 歯周病原性菌に対して安心できるホルダー付きデンタルフロスの保管法 第 56 回歯科衛生研究会 (口演)
新潟市, 2025 年 2 月 19 日

G 特別講演・シンポジウム等での講演
記載事項なし

令和6年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動現状報告

(令和7年3月31日現在)

氏 名	宮崎 晶子
学 位	博士 (歯学)

1. 研究テーマ

- 1) 視知覚パターンを活用した教育法の確立
Establishment of educational method utilizing visual perception pattern
- 2) 歯間ブラシの挿入感と挿入圧に関する研究
Research on insertion feeling and insertion pressure of interdental brush
- 3) 歯科衛生士の倫理綱領に関する教育
Education regarding the code of ethics for dental hygienists
- 4) ガム咀嚼と運動パフォーマンスとに関する研究
Research on chewing gum and exercise performance.

2. 今年度の研究計画

- 1) 視知覚パターンを活用した教育法の確立
『視知覚パターンを活用した教育法の確立～学習評価における眼球運動の軌跡解析～（令和4～6年度科研費 基盤研究C）』として3年計画で研究を進めた。実技を伴う視線教育について、インストラクター側の眼球運動から経験値による影響を分析し、第15回日本歯科衛生教育学会で口演発表を行った（2024年12月）。
- 2) 歯間ブラシの挿入感と挿入圧に関する研究
本調査では歯科衛生士に臨床の場において指導での感覚をもとに顎模型への歯間ブラシの挿入感を記入いただく調査を行い、機械的に挿入して測定した挿入圧との関連性を明らかにした。第19回日本歯科衛生学会学術大会にポスター発表を行った（2024年9月2演題）。
- 3) 歯科衛生士の倫理綱領に関する教育
日本歯科衛生教育学会教育活動委員として、『歯科衛生士のための倫理綱

領 事例集』を作成し、医歯薬出版(株)にて書籍として出版する予定である（2025 年 11 月末）。倫理綱領に関するアンケートを行った結果について第 20 回日本歯科衛生学会学術大会にポスター発表する予定である（2025 年 9 月）。

4) ガム咀嚼と運動パフォーマンスとに関する研究（専攻研究指導）

ガムの硬さと形状の違いがスポーツ中のパフォーマンスにどのように影響を及ぼすかを運動機能の測定結果から分析し、第 56 回歯科衛生研究会に発表を行った（2025 年 2 月専攻科生発表）。

3. 対外的活動（学外講義・学会活動など）

1) 他大学での講義

- (1) 新潟市立木山小学校
- (2) 新潟市立日和山小学校
- (3) 新潟市立東特別支援学校

2) 学会活動（査読、理事、評議員など）

- (1) 北信越障害者歯科臨床研究会幹事
- (2) 日本歯科衛生教育学会 理事
- (3) 日本歯科衛生教育学会 評議員
- (4) 日本口腔保健学会 査読委員
- (5) 甲信越北陸口腔保健研究会 幹事

3) 公的な委員会等

- (1) (一社) 新潟県歯科衛生士会 専務理事
- (2) (一社) 全国歯科衛生士教育協議会 理事
- (3) ISO TC 106/SC7 国際規格作成委員会 日本委員会
 - WG1 分科会（手用歯ブラシ）
 - WG2 分科会（電動口腔衛生用具）
 - WG5 分科会（歯間ブラシ）
- (4) 日本歯科衛生教育学会 教育活動委員会 委員
- (5) 新潟市介護認定審査委員

4 研究業績

A 著 書

- 1) 宮崎晶子 (共著) : よくわかる歯科衛生過程, 第 1 版第 11 刷, 医歯薬出版, 東京, 2025. ISBN 978-4-263-42205-2.
- 2) 宮崎晶子 (分担) : 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第 2 版 第 1 刷 : 5 章 補綴治療時の診療補助, 医歯薬出版, 東京, 2025. 150-169. ISBN 978-4-263-42640-1.
- 3) 宮崎晶子 (分担) : 歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学 第 1 版 : 3 章 有床義歯治療, 医歯薬出版, 東京, 2025. 患者への説明と指導 133-143, ISBN 978-4-263-42615-9.
- 4) 宮崎晶子 (分担) 歯科衛生学シリーズ 歯科材料 第 1 版第 3 刷 : 11 章 その他の歯科材料, 医歯薬出版, 東京, 2025. 歯科補綴にかかわる材料 162-170. ISBN 978-4-263-42612-8.
- 5) 宮崎晶子 (分担) : 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第 2 版第 1 刷 : III 編 2 章 歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報処理, 医歯薬出版, 東京, 2025. 3 認知機能の把握～7 口腔の機能的問題の把握. 98-126. ISBN 978-4-263-42642-5.
- 6) 宮崎晶子 (分担) : 歯科衛生士講座 小児歯科学. 第 2 版 第 1 刷, 永末書店, 京都, 2025. 110-121. ISBN 978-4-8160-1447-5.

B 原 著

記載事項なし

C 総説・解説

記載事項なし

D 報告 (臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等) ・紀要

- 1) 榎志佳, 宮崎晶子, 今井あかね : 風船トレーニングによる口唇閉鎖力および舌圧に対する影響, 日口腔保健誌, 14 (1) : 90-95, 2024.

E 翻 訳

記載事項なし

F 学術大会 (口演・ポスター発表) ・講演会・研修会・研究会等での講演

- 1) 元井志保, 長谷川優, 煤賀美緒, 嵐聖芽, 土田智子, 宮崎晶子, 浅沼直樹 : 歯科衛生学生の職業アイデンティティ形成に与える影響 医療に従事する近親

者の有無の比較，日本歯科衛生士学会第 19 回学術大会，新潟県，2024 年 9 月 21 日～23 日．

- 2) 嵐聖芽，宮崎晶子，長谷川優，土田智子，元井志保，煤賀美緒，榎志佳，両角祐子，田増章吾，佐野晃：歯間ブラシの適正サイズに関する研究 第 1 報 顎模型への挿入サイズとアンケート調査，日本歯科衛生士学会第 19 回学術大会，新潟県，2024 年 9 月 21 日～23 日．
- 3) 宮崎晶子，長谷川優，土田智子，元井志保，煤賀美緒，嵐聖芽，清野可那子，両角祐子，田増章吾，佐野晃：歯間ブラシの適正サイズに関する研究 第 2 報 歯間ブラシのブラシ圧と測定方法の検討，日本歯科衛生士学会第 19 回学術大会，新潟県，2024 年 9 月 21 日～23 日．
- 4) 宮崎晶子，長谷川優，土田智子，元井志保，煤賀美緒，嵐聖芽，榎志佳，清野可那子，池田裕子：視知覚パターンを活用した教育法の確立～インストラクターの経験差による眼球運動の比較～，日本歯科衛生教育学会第 15 回学術大会，大阪府，2024 年 11 月 30 日～12 月 1 日．
- 5) 綿貫寧，宮崎晶子：ガムの硬さと形状の違いによるスポーツ中のパフォーマンスに関する研究，第 56 回歯科衛生研究会，新潟県，2025 年 2 月 19 日．
- 6) 大島夕佳，大森みさき，加藤千景，宮崎晶子，今井あかね：舌苔が全身に及ぼす影響と舌苔除去による口臭抑制方法について，第 56 回歯科衛生研究会，新潟県，2025 年 2 月 19 日．
- 7) 圓山史織，池田裕子，松岡恵理子，宮崎晶子：歯科ユニットにおける拭掃状況の可視化について，第 56 回歯科衛生研究会，新潟県，2025 年 2 月 19 日．

G 特別講演・シンポジウム等での講演

H その他

1. 外部研究費

1) 研究費の名称：デンタルプロ株式会社

種 類：継 続

研究期間：2024 年 10 月 1 日～2025 年 9 月 30 日

研究課題名：歯間ブラシの選択サイズと使用時にかける圧(力)との関係解析～顎模型を用いた適正圧の探索～

研究代表者：宮崎晶子

研究分担者：土田智子，池田裕子，元井志保，煤賀美緒，嵐 聖芽，榎志佳，清野可那子，両角祐子，高塩智子

一課題あたりの総取得額：30 万

2) 研究費の名称：デンタルプロ株式会社

種 類 ：継 続

研究期間 ：2024 年 10 月 1 日～2025 年 9 月 30 日

研究課題名：歯間ブラシ使用時にかかる負荷(力)の分析と評価方法探索
～ 口腔負荷視点からの適正圧探索 ～

研究代表者：両角祐子

研究分担者：高塩智子，宮崎晶子，土田智子，池田裕子，元井志保，煤賀美
緒，嵐聖芽，榎志佳，清野可那子

一課題あたりの総取得額：30 万

2. 科学研究費

1) 令和4年度 基盤研究 (C) (一般)

研究代表者：宮崎晶子

研究分担者：長谷川 優

課題名：視知覚パターンを活用した教育法の確立
～学習評価における眼球運動の軌跡解析～

金 額：2,990 千円

研究期間：2022 年～2024 年

令和6年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和7年3月31日現在)

氏 名	吉村 建
学 位	博士(歯学)

1. 研究テーマ

(和文名) 舌粘膜の形態学に関するコンピュータビジョン

(英文名) Computer Vision for the Morphology of the Tongue Mucosa

2. 今年度の研究計画

科研費採択課題の推進と論文執筆に向けた準備

3. 対外的活動(学外講義・学会活動など)

1) 他大学での講義

2) 学会活動(査読、理事、評議員など)

日本解剖学会代議員

3) 公的な委員会等

4. 研究業績

A 著 書

B 原 著

1) Comparative Evaluation of Super-Resolution Processed Image Quality of Lingual Mucosal Images by Generative Adversarial Network

Ken Yoshimura, Satoko Tsuchida, Naoki Asanuma, Shin-ichi Iwasaki, Shinichi Yamagiwa

Journal of Hard Tissue Biology 33(4) 219-232 2024 年

2) Downregulation of mRNAs Encoding Keratin-Associated Proteins in the Tongue of Mice Fed a High-Fat Diet

Toshiya Nakatani, Ken Yoshimura, Akira Tanaka, Shogo Ohkoshi

Journal of Hard Tissue Biology 33(2) 93-98 2024 年 4 月

C 総 説・解 説

D 報 告（臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等）・紀 要

E 翻 訳

F 学術大会（口演・ポスター発表）・講演会・研修会・研究会等での講演

1) LED 励起によるバイオフィルム蛍光検出に関する予備的研究

吉村 建，土田智子，山際伸一，浅沼直樹

第 56 回 歯科衛生研究会

G 特別講演・シンポジウム等での講演

令和6年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和7年3月31日現在)

氏 名	長谷川 優
学 位	博士 (歯学)

1. 研究テーマ

- ・ 学生のキャリア選択に影響を与える因子について
Factors influencing students' career choices
- ・ 学童期における矯正歯科治療必要度とカリエス分布の関連について
The relationship between the need for orthodontic treatment and the distribution of caries in school-age children
- ・ 上顎における中切歯と側切歯の歯冠近遠心幅径の関係について
The relationship of tooth crown dimensions between central and lateral incisor in maxilla
- ・ ブラケット除去後の歯面の耐酸性について
Acid resistance of tooth enamel after orthodontic bracket debonding
- ・ 習慣性咀嚼側と咀嚼能率の関係について
Relationship between habitual chewing side and masticatory performance
- ・ 新型コロナウイルス (COVID-19) 感染症のパンデミックによる心理状況の変化がもたらした影響
Impact of the changing psychological conditions caused by the pandemic of the new coronavirus (COVID-19) infection.

2. 今年度の研究計画

- ・ 学生のキャリア選択に影響を与える因子について
International Journal of Dental Hygiene 誌に論文が受理された。現在、Online で公開 (<https://doi.org/10.1111/idh.12865>) されており、雑誌掲載待ちである。令和7年度も、新潟短期大学と日本歯科大学新潟生命歯学部 of 学生を対象としてデータの収集と解析を行う。

全国大学歯科衛生士教育協議会の教育・研究委員会で、協議会会員校のキャリア教育に関するアンケートを実施し、アンケート結果の解析を行った。令和 7 年度中の投稿に向けて、論文を作成する。

- ・ 学童期における矯正歯科治療必要度とカリエス分布の関連について
モンゴル健康科学大学歯科矯正学講座と連携しつつ、研究を継続する。
- ・ 上顎における中切歯と側切歯の歯冠近遠心幅径の関係について
資料を収集しつつ、永久歯の歯冠形態に関する研究を継続する。
- ・ ブラケット除去後の歯面の耐酸性について
データ採取・解析が終了したので、令和 7 年度は論文を作成する。
- ・ 習慣性咀嚼側と咀嚼能率の関係について
現在、投稿論文の査読結果待ちである。令和 7 年度は論文の査読結果に対応する。
- ・ 新型コロナウイルス (COVID-19) 感染症のパンデミックによる心理状況の変化がもたらした影響
現在、投稿論文の査読結果待ちである。令和 7 年度は論文の査読結果に対応する。

3. 対外的活動（学外講義・学会活動など）

1) 他大学での講義

- ・ 新潟県立新津高等学校「総合的な探求の時間」第 2 学年探究班指導

2) 学会活動（査読、理事、評議員など）

- ・ 甲北信越矯正歯科学会雑誌編集委員会 委員
- ・ 全国大学歯科衛生士教育協議会雑誌編集委員会 査読委員
- ・ European Journal of Dental Education 査読委員
- ・ Journal of Dental Education 査読委員
- ・ International Journal of Dental Hygiene 査読委員
- ・ Clinical and Investigative Orthodontics 査読委員
- ・ Progress in Orthodontics 査読委員
- ・ Odontology 査読委員

3) 公的な委員会等

- ・ 全国大学歯科衛生教育協議会 教育・研究委員会 委員長
- ・ 高等教育コンソーシアムにいがた歯科系タスクフォース部会 委員
- ・ 新潟市介護認定審査会 委員

4 研究業績

A 著 書

1. 長谷川優 (分担) : 1 章 歯科矯正学概論. 新井一仁, 佐藤 聡, 山田小枝子 編: 歯科衛生学シリーズ 歯科矯正学. 2 版, 医歯薬出版, 東京, 2025, 2-12.

B 原 著

1. 星野紗波, 煤賀美緒, *長谷川優: マルチブラケット装置装着者の口腔内への関心度およびプラーク付着量の変化について, 日口腔保健誌, 14 : 1-8, 2024.
2. 元井志保, *長谷川優, 嵐 聖芽, 煤賀美緒, 浅沼直樹, 小松崎明: 歯科衛生学生の職業アイデンティティ形成に対する医療職に従事する近親者の有無の影響, 全大衛協会誌, 14, 46-56, 2025.

C 総 説・解 説

該当なし

D 報 告 (臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等)・紀 要

1. *束理頼亮, 古澤 歩, 長谷川優: スポーツ飲料によるヒト抜去歯エナメル質の脱灰とブラッシングの影響, 日口腔保健誌, 14 : 52-57, 2024.

E 翻 訳

該当なし

F 学術大会 (口演・ポスター発表)・講演会・研修会・研究会等での講演

1. 元井志保, 長谷川優, 煤賀美緒, 嵐 聖芽, 土田智子, 宮崎晶子, 浅沼直樹: 歯科衛生学生の職業アイデンティティ形成に与える影響ー医療に従事する近親者の有無の比較ー, 日衛学誌, 19(1) : 103, 2024.
2. 嵐 聖芽, 宮崎晶子, 長谷川優, 土田智子, 元井志保, 煤賀美緒, 榎 志佳, 両角祐子, 田増章吾, 佐野 晃: 歯間ブラシの適正サイズに関する研究 第 1 報 顎模型への挿入サイズとアンケート調査,

日衛学誌, 19(1) : 122, 2024.

3. 宮崎晶子, 長谷川優, 土田智子, 元井志保, 煤賀美緒, 嵐 聖芽, 清野可那子, 両角祐子, 田増章吾, 佐野 晃: 歯間ブラシの適正サイズに関する研究 第2報 歯間ブラシのブラシ圧と測定方法の検討, 日衛学誌, 19(1) : 123, 2024.
4. 煤賀美緒, 長谷川優, 犬飼順子, 市川順子: 歯科衛生士の教育とキャリアパス ―歯科衛生学生のキャリア教育プログラムに関するアンケート調査からの考察―, 日衛教育誌, 15(2) : 132, 2024.
5. 宮崎晶子, 長谷川優, 土田智子, 元井志保, 煤賀美緒, 嵐 聖芽, 榎 志佳, 清野可那子, 池田裕子: 視知覚パターンを活用した教育法の確立―インストラクターの経験差による眼球運動の比較―, 日衛教育誌, 15(2) : 120, 2024.
6. 星野紗波, 煤賀美緒, 長谷川優: マルチブラケット装置装着者の口腔内への関心度およびブラーク付着量の変化について, 第55回歯科衛生研究会, 新潟県新潟市, 2024年2月21日.
7. 束理頼亮, 長谷川優: 矯正用ボンディング材がエナメル質に与える耐酸性―齲蝕抑制効果に関する研究―, 第35回日本臨床口腔病理学会, 新潟県新潟市, 2024年7月30日.
8. 高橋靖之, 井口麻美, 押切 孔, 斎藤芳秀, 嵐 聖芽, 土田智子, 長谷川優: 早期臨床病院実習における歯科医師と歯科衛生士に対するイメージの変化, 第43回日本歯科医学教育学会学術大会, 愛知県名古屋市, 2024年9月6日.
9. 岩田采夕, 長谷川優, 元井志保: 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)におけるパンデミックの影響で変化した口腔保健行動, 第56回歯科衛生研究会, 新潟県新潟市, 2025年2月19日.
10. 田中桜良, 煤賀美緒, 長谷川優: 習慣性咀嚼側と咀嚼能率の関係について, 第56回歯科衛生研究会, 新潟県新潟市, 2025年2月19日.
11. 三富加奈子, 関口博一, 加藤千景, 長谷川 優, 浅沼直樹, 吉村 建, 土田智子, 宮崎晶子, 小松崎明: 高校生を対象とした新潟短期大学歯科技工学科志望調査の結果について, 第56回歯科衛生研究会, 新潟県新潟市, 2025年2月19日.

G 特別講演・シンポジウム等での講演
該当なし

令和6年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和7年3月31日現在)

氏 名 渡辺 みのり

学 位 博士(理学)

1. 研究テーマ

1. Belle II 実験のための分散コンピューティングシステムの研究
(R&D of distributed computing system for Belle II experiment)
2. Belle 実験における稀崩壊過程の研究
(The study of rare decay at Belle)
3. 常温硬化・紫外線硬化プラスチックシンチレータの開発
(Development of plastic scintillator cured at room temperature and by ultraviolet light)
5. 有機半導体放射線検出器の開発
(Study on the Organic Semiconductor Radiation Detectors)
6. 原子炉ニュートリノ検出器の開発
(The development of reactor neutrino monitor)

2. 今年度の研究計画

1. Belle II 実験のための分散コンピューティングシステムの研究
2. Belle 実験における稀崩壊過程の研究
3. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究 (B)継続
常温硬化樹脂を用いた大面積薄膜プラスチックシンチレータによる α 線検出器開発(課題番号:20K14494), 渡辺みのり
4. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C)新規
常温硬化・紫外線硬化樹脂を使った高速応答プラスチックシンチレータの開発(24K07072), 渡辺みのり
5. 原子炉ニュートリノ検出器の開発

3. 対外活動

- 1) 他大学での講義
(1) 日本歯科大学新潟生命歯学部における講義
熱と物質の物理学 第1学年

(2) 日本歯科大学新潟生命歯学部における学生実習

情報科学の実習, 第1学年

歯科入門実習(物理分野), 第1学年

2) 学会活動 (査読, 理事, 評議委員など)

記載事項なし

3) 公的な委員会等

記載事項なし

4. 研究業績

A. 著書

記載事項なし

B. 原著

1. Adachi I, Aggarwal L, Aihara H, Akopov N, Aloisio A, (Belle, Belle II Collagorations), Ono H, Watanabe M (276, 409th) (427 authors). Measurement of branching-fraction ratios and CP asymmetries in $B^\pm \rightarrow DCP^\pm K^\pm$ decays at Belle and Belle II. ☆◎JHEP.2024; 212: 1-26. doi : 10.1007/JHEP05(2024)212.
2. Adachi I, Adamczyk K, Aggarwal L, Ahmed H, Aihara H, (Belle II Collagoration), Ono H, Watanabe M (295, 433th) (454 authors). Evidence for $B^+ \rightarrow K^+ \nu^- \nu$ decays. ☆◎Phys. Rev. D. 2024; 109: 112006-1-112006-29. doi :10.1103/PhysRevD.109.112006.
3. Adachi I, Aggarwal L, Aihara H, Akopov N, Aloisio A, (Belle II Collagoration), Ono H, Watanabe M (264, 371th) (392 authors). Measurement of the branching fraction of the decay $B^- \rightarrow D0\rho(770)^-$ at Belle II. Phys. Rev. D. 2024; 109: L111103-1-L111103-8. doi: 10.1103/PhysRevD.109.L111103.
4. Adachi I, Aggarwal L, Ahmed H, Aihara H, Akopov N, (Belle II Collagoration), Ono H, Watanabe M (294, 432th) (452 authors). Measurement of CP asymmetries in $B0 \rightarrow K0SK0SK0S$ decays at Belle II. ☆◎Phys. Rev. D. 2024; 109:112020-1-112020-11. doi : 10.1103/PhysRevD.109.
5. Adachi I, Aggarwal L, Aihara H, Akopov N, Aloisio A, (Belle II Collagoration), Ono H, Watanabe M (276, 398th) (419 authors). Determination of $|V_{ub}|$ from simultaneous measurements of untagged $B0 \rightarrow \pi^- \ell^+ \nu \ell$ and $B^+ \rightarrow \rho^0 \ell^+ \nu \ell$ decays. ◇arXiv. 2024; 1-20. doi : 10.48550/arXiv.2407.17403.
6. Adachi I, Aggarwal L, Aihara H, Akopov N, Aloisio A, (Belle II Collagoration), Ono H, Watanabe M (271, 385th) (406 authors). Measurement

- of the branching fractions of $B^-B \rightarrow D(*)K-K(S)0-K(S)0$ and $B^-B \rightarrow D(*)D_s-(*)D_s-$ decays at Belle II. $\star\odot$ JHEP. 2024; 206: 1-36. doi : 10.1007/JHEP08(2024)206.
7. Adachi I, Adamczyk K, Aggarwal L, Aihara H, Akopov N, (Belle II Collagoration), Ono H, Watanabe M (285, 408th) (430 authors). Test of light-lepton universality in τ decays with the Belle II experiment. $\star\odot$ JHEP. 2024; 205: 1-22. doi :10.1007/JHEP08(2024)205.
 8. Adachi I, Aggarwal L, Aihara H, Akopov N, Aloisio A, (Belle, Belle II Collagorations), Ono H, Watanabe M (261, 374th) (394 authors). Search for Rare $b \rightarrow d\ell + \ell^-$ Transitions at Belle. $\star\odot$ Phys. Rev. Lett. 2024; 133: 101804-1-101804-8. doi :10.1103/PhysRevLett.133.101804.
 9. Adachi I, Aggarwal L, Aihara H, Akopov N, Aloisio A, (Belle II Collagoration), Ono H, Watanabe M (283, 410th) (431 authors). Search for lepton-flavor-violating $\tau^- \rightarrow \mu^- \mu^+ \mu^-$ decays at Belle II. $\star\odot$ JHEP. 2024; 062: 1-22. doi : 10.1007/JHEP09(2024)062.
 10. Adachi I, Aggarwal L, Ahmed H, Aihara H, Akopov N, (Belle II Collagoration), Ono H, Watanabe M (303, 446th) (468 authors). Measurement of the energy dependence of the $e^+e^- \rightarrow BB^-, BB^*$, and B^*B^* cross sections at Belle II. JHEP. 2024; 114: 1-32. doi :10.1007/JHEP10(2024)114.
 11. Adachi I, Adamczyk K, Aggarwal L, Ahmed H, Aihara H, (Belle II Collagoration), Ono H, Watanabe M (286, 418th) (438 authors). Test of lepton flavor universality with a measurement of $R(D^*)$ using hadronic B tagging at the Belle II experiment. $\star\odot$ Phys. Rev. D. 2024; 110: 072020-1-072020-17. doi :10.1103/PhysRevD.110.072020.
 12. Adachi I, Aggarwal L, Ahmed H, Aihara H, Akopov N, (Belle, Belle II Collagorations), Ono H, Watanabe M (227, 324th) (339 authors). Model-independent measurement of D^0 - D^0 mixing parameters in $D^0 \rightarrow K^0 S \pi^+ \pi^-$ decays at Belle and Belle II. $\diamond$ arXiv. 2024;1. doi : 10.48550/arXiv.2410.22961.
 13. Adachi I, Aggarwal L, Ahmed H, Aihara H, Akopov N, (Belle II Collagoration), Ono H, Watanabe M (295, 431th) (453 authors). Measurement of $B \rightarrow K^*(892)\gamma$ decays at Belle II. $\diamond$ arXiv. 2024; 1-20. doi : 10.48550/arXiv.2411.10127.
 14. Adachi I, Aggarwal L, Ahmed H, Aihara H, Akopov N, (Belle, Belle II Collagorations), Ono H, Watanabe M (293, 428th) (452 authors). Measurement of the inclusive branching fractions for B^0 s decays into D mesons via hadronic tagging. $\diamond$ arXiv. 2024; 1-23. doi :10.48550/arXiv.2411.14032.
 15. Adachi I, Aggarwal L, Aihara H, Akopov N, Aloisio A, (Belle II Collagoration), Ono H, Watanabe M (247, 346th) (364 authors). Measurement

- of the $e^+e^- \rightarrow \pi^+\pi^-\pi^0$ cross section in the energy range 0.62–3.50 GeV at Belle II. $\star\odot$ Phys. Rev. D. 2024; 110:112005-1-112005-25. doi : 10.1103/PhysRevD.110.112005.
16. Adachi I, Aggarwal L, Ahmed H, Aihara H, Alhakami M, (Belle II Collagoration), Ono H, Watanabe M (289, 419th) (439 authors). Measurement of the branching fraction and CP-violating asymmetry of the decay $B^0 \rightarrow \pi^0\pi^0$ using 387 million bottom-antibottom meson pairs in Belle II data. $\diamond$ arXiv. 2024; 1-9. doi : 10.48550/arXiv.2412.14260.
 17. Adachi I, Adamczyk K, Aggarwal L, Ahmed H, Aihara H, (Belle, Belle II Collagorations), Ono H, Watanabe M (280, 404th) (425 authors). Search for lepton flavor-violating decay modes $B^0 \rightarrow K^0 S \tau^\pm \ell^\mp$ ($\ell = \mu, e$) with hadronic B-tagging at Belle and Belle II. $\diamond$ arXiv.2024; 1-10. doi : 10.48550/arXiv.2412.16470.
 18. Adachi I, Aggarwal L, Ahmed H, Akopov N, Alghamdi S, (Belle II Collagoration), Ono H, Watanabe M (252, 361th) (379 authors). Measurement of the branching fraction, polarization, and time-dependent CP asymmetry in $B^0 \rightarrow \rho^+\rho^-$ decays and constraint on the CKM angle ϕ_2 . $\diamond$ arXiv. 2024; 1-15. doi : 10.48550/arXiv.2412.19624.
 19. Adachi I, Aggarwal L, Ahmed H, Aihara H, Akopov N, (Belle II Collagoration), Ono H, Watanabe M (287, 416th) (438 authors). Measurement of CP Asymmetries in $B^0 \rightarrow K^0 S \pi^0 \gamma$ Decays at Belle II. $\star\odot\diamond$ Phys. Rev. Lett. 2025; 134: 011802-1-011802-8. doi :10.1103/PhysRevLett.134.011802
 20. Adachi I, Aggarwal L, Ahmed H, Aihara H, Akopov N, (Belle, Belle II Collagorations), Ono H, Watanabe M (240, 342th) (360 authors). Measurement of the time-integrated CP asymmetry in $D^0 \rightarrow K^0 S K^0 S$ decays using Belle and Belle II data. $\star\odot$ Phys. Rev. D.2025; 111: 012015-1-012015-11. doi : 10.1103/PhysRevD.111.012015.
 21. Adachi I, Aggarwal L, Ahmed H, Ahn J. K, Aihara H, (Belle, Belle II Collagorations), Ono H, Watanabe M (263, 384th) (405 authors). Evidence of the $P_{cc\bar{b}}(4459)^0$ in Upsilon(1S, 2S) inclusive decays at Belle. $\diamond$ arXiv. 2025; 1-8. doi :10.48550/arXiv.2502.09951.
 22. Adachi I, Aggarwal L, Ahmed H, Aihara H, Alhakami M, (Belle II Collagoration), Ono H, Watanabe M (259, 367th) (385 authors). Observation of the decay $B^0 \rightarrow J/\psi \omega$ at Belle II. $\star\odot$ Phys. Rev. D. 2025; 111: 032012-1-032012-8. doi :10.1103/PhysRevD.111.032012.
 23. Adachi I, Aggarwal L, Ahmed H, Ahn J. K, Aihara H, (Belle, Belle II Collagorations), Ono H, Watanabe M (274, 404th) (426 authors). Measurement

of the Branching Fraction of $\Lambda^+c \rightarrow pK^0S\pi^0$ at Belle. $\diamond$ arXiv. 2025; 1-20. doi : 10.48550/arXiv.2503.04371.

24. Adachi I, Aggarwal L, Akopov N, Alhakami M, Aloisio A, (Belle, Belle II Collagorations), Ono H, Watanabe M (230, 328th) (347 authors). Observations of the singly Cabibbo-suppressed decays $\Xi^+c \rightarrow pK^0S\Xi^+ \rightarrow pK^0S^0$, $\Xi^+c \rightarrow \Lambda\pi^+\Xi^+ \rightarrow \Lambda\pi^+$, and $\Xi^+c \rightarrow \Sigma^0\pi^+\Xi^+ \rightarrow \Sigma^0\pi^+$ at Belle and Belle II. $\star$ ©JHEP. 2025; 61: 1-20. doi :10.1007/JHEP03(2025)061.

C. 解説・総説

記載事項なし

D. 報告・紀要

記載事項なし

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術大会(口演・ポスター発表)・講演会・研究会・研修会等での講演

1. MiyataE, Mitata H, Fukasawa E, Hayasaka K, Katsumata K, Ono H, Watanabe M, (6th,7th, 13 in total). Long-term stability of a radiation detector using organic semiconductor. The 11th International Conference on Molecular Electronics & Bioelectronics, 島根県松江市, 2024 年 6 月 19~21 日
2. 坂下 航太郎, 深澤 永里香, 宮田 恵理, 宮田 等, 早坂 圭司, 勝亦 正明, 小野 裕明, 渡辺 みのり (7, 8 番目 全 14 名). 導電性ポリマーと TiO₂ を用いた新規放射線検出器の作製. 第 72 回応用物理学会春季学術講演会, 千葉県野田市, 2025 年 3 月 14~17 日
3. 王 兆博, 宮田 恵理, 深澤 永里香, 宮田等, 早坂 圭司, 勝亦 正明, 小野 裕明, 渡辺 みのり (7, 8 番目 全 14 名). 画像処理を用いた有機半導体放射線センサの内部構造に関する研究. 第 72 回応用物理学会春季学術講演会, 千葉県野田市, 2025 年 3 月 14~17 日
4. Shusuke Takeda, Eisuke Saito , Yoshiaki Seino, Erika Fukasawa, Hitoshi Miyata, Hiroaki Ono, Minori Watanabe (6,7 番目 全 14 名). Long-term stability evaluation of new plastic scintillator, STI-Gigaku2024, 新潟県長岡市, 2024 年 11 月 7 日
5. Keita Okamoto, Eisuke Saito , Yoshiaki Seino, Erika Fukasawa, Hitoshi Miyata, Hiroaki Ono, Minori Watanabe (6,7 番目 全 14 名). Development of

a room-temperature-curable plastic scintillator for electromagnetic calorimeters, 新潟県長岡市

6. Yu Yanagisawa, Eisuke Saito , Yoshiaki Seino, Erika Fukasawa, Hitoshi Miyata, Hiroaki Ono, Minoru Watanabe (6,7 番目 全 14 名). Application of boron-doped scintillators to reactor monitors, 新潟県長岡市
7. Taichi Watanabe, Eisuke Saito , Yoshiaki Seino, Erika Fukasawa, Hitoshi Miyata, Hiroaki Ono, Minoru Watanabe (6,7 番目 全 14 名). Design of a signal readout circuit for a radiation position detector using a miniature optical sensor, 新潟県長岡市
8. Yuya Karasawa, Eisuke Saito , Yoshiaki Seino, Erika Fukasawa, Hitoshi Miyata, Hiroaki Ono, Minoru Watanabe (6,7 番目 全 14 名). Development of Fiber-included Plastic Scintillator for Neutrino 3D Position Detectors, 新潟県長岡市
9. Hayata Matsumura, Eisuke Saito , Yoshiaki Seino, Erika Fukasawa, Hitoshi Miyata, Hiroaki Ono, Minoru Watanabe (6,7 番目 全 14 名). Development of a New Plastic Scintillator for Large-Scale Measurement of Environmental Radiation, 新潟県長岡市
10. Shogo Tezuka, Eisuke Saito , Yoshiaki Seino, Erika Fukasawa, Hitoshi Miyata, Hiroaki Ono, Minoru Watanabe (6,7 番目 全 14 名). Development of a new plastic scintillator for SPECT detectors, 新潟県長岡市
11. 斎藤栄輔, 宮田等, 小野裕明, 渡辺みのり (3,4 番目 全 13 名). 常温硬化プラスチックシンチレータの長寿命化に関する研究, 日本物理学会第 79 回年次大会, 北海道札幌市, 9 月 17 日
12. 岡本恵太, 木村太一, 斎藤栄輔, 武田秀輔, 小野裕明, 渡辺みのり (5,6 番目 全 17 名). , 電磁カロリメータに向けた常温硬化プラスチックシンチレータの開発, 日本物理学会第 79 回年次大会, 北海道札幌市, 9 月 17 日

G. 特別講演・シンポジウム講演
記載事項なし

令和6年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和7年3月31日現在)

氏 名 土田 智子
学 位 博士(口腔保健福祉学)

1. 研究テーマ

1) 口腔粘膜表面の微細形態学的観察とバイオフィルムのプロファイリングに関する研究

Study on micro-morphological observations of oral mucosal surfaces and biofilm profiling

2) 歯科衛生学生における口腔・咽頭吸引実習の教育効果

Effectiveness of oral and pharynx suction training in dental hygiene undergraduate education.

2. 今年度の研究計画

1) 口腔粘膜表面の微細形態学的観察とバイオフィルムのプロファイリングに関する研究

新型口腔粘膜観察装置の効果を検証しつつ、これらの手法により包括的に口腔粘膜を検証する。

2) 歯科衛生学生における口腔・咽頭吸引実習の教育効果

歯科衛生士は、口腔ケアや摂食嚥下に携わる者として呼吸器のリスク管理が求められており、「歯科診療の補助」として2014年から吸引を実習に取り入れている。学生アンケート結果から、吸引実習の教育効果とより効果的な実施時期を検討した。なお、2025年4月口腔ケア学会においてポスター発表予定である。

3. 対外的活動(学外講義・学会活動など)

1) 他大学での講義

該当なし

2) 学会活動(査読、理事、評議員など)

(1) 歯科衛生教育学会 学術委員会 委員

3) 公的な委員会等

- (1) 歯科衛生士国家試験 試験委員
- (2) 新潟市介護認定審査委員

4 研究業績

A 著 書

③分担

- 1) 土田智子 (分担) : 歯科衛生学シリーズ 歯科材料 第1版 医歯薬出版株式会社, 6・8章分担 ISBN 978-4-263-42612-8. 2025年2月10日 第2版第1刷発行
- 2) 土田智子 (分担) : 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第1版 医歯薬出版株式会社 I編 5章⑤・⑥分担 ISBN 978-4-263-42629-6. 2025年2月10日 第2版第1刷発行

B 原 著

該当なし

C 総 説・解 説

該当なし

D 報 告 (臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等)・紀 要

該当なし

E 翻 訳

該当なし

F 学術大会 (口演・ポスター発表)・講演会・研修会・研究会等での講演

- 1) 元井志保, 長谷川優, 煤賀美緒, 嵐聖芽, 土田智子, 宮崎晶子, 浅沼直樹 : 歯科衛生学生の職業アイデンティティ形成に与える影響 医療に従事する近親者の有無の比較, 日本歯科衛生士学会第19回学術大会, 新潟県, 2024年9月21日～23日.
- 2) 嵐聖芽, 宮崎晶子, 長谷川優, 土田智子, 元井志保, 煤賀美緒, 榎志佳, 両角祐子, 田増章吾, 佐野晃 : 歯間ブラシの適正サイズに関する研究 第1報 顎模型への挿入サイズとアンケート調査, 日本歯科衛生士学会第19回学術大会, 新潟県, 2024年9月21日～23日.

- 3) 宮崎晶子, 長谷川優, 土田智子, 元井志保, 煤賀美緒, 嵐聖芽, 清野可那子, 両角祐子, 田増章吾, 佐野晃: 歯間ブラシの適正サイズに関する研究 第2報 歯間ブラシのブラシ圧と測定方法の検討, 日本歯科衛生士学会第19回学術大会, 新潟県, 2024年9月21日~23日.
- 4) 宮崎晶子, 長谷川優, 土田智子, 元井志保, 煤賀美緒, 嵐聖芽, 榎志佳, 清野可那子, 池田裕子: 視知覚パターンを活用した教育法の確立~インストラクターの経験差による眼球運動の比較~, 日本歯科衛生教育学会第15回学術大会, 大阪府, 2024年11月30日~12月1日.
- 5) 竹田璃世, 土田智子, 嵐 聖芽, 今井あかね, 三上正人. 国産純正ハチミツとマヌカハニーによる口腔内細菌への抗菌効果について. 第56回歯科衛生研究会, 新潟, 2025年2月19日
- 6) 片桐千優, 吉村 建, 土田智子, 今井あかね. 舌清掃による舌乳頭の形態と血管面積率の変化に関する研究. 第56回歯科衛生研究会, 新潟, 2025年2月19日
- 7) 吉村 建, 土田智子, 山際伸一, 浅沼直樹. LED 励起によるバイオフィルム蛍光検出に関する予備的研究. 第56回歯科衛生研究会, 新潟, 2025年2月19日

G 特別講演・シンポジウム等での講演
該当なし

H. その他

1. 外部研究費

1) 研究費の名称: デンタルプロ株式会社

種 類 : 継 続

研究期間 : 2024年10月1日~2025年9月30日

研究課題名: 歯間ブラシの選択サイズと使用時にかける圧(力)との関係解析
~ 顎模型を用いた適正圧の探索 ~

研究代表者: 宮崎晶子

研究分担者: 土田智子, 池田裕子, 元井志保, 煤賀美緒, 嵐 聖芽, 榎志佳,
清野可那子, 両角祐子, 高塩智子

一課題あたりの総取得額: 30万

2) 研究費の名称: デンタルプロ株式会社

種 類 : 継 続

研究期間 : 2024 年 10 月 1 日～2025 年 9 月 30 日

研究課題名 : 歯間ブラシ使用時にかかる負荷(力)の分析と評価方法探索
～ 口腔負荷視点からの適正圧探索 ～

研究代表者 : 両角祐子

研究分担者 : 高塩智子, 宮崎晶子, 土田智子, 池田裕子, 元井志保, 煤賀美
緒, 嵐聖芽, 榎志佳, 清野可那子

一課題あたりの総取得額 : 30 万

2. 科学研究費

1) 令和 5 年度 基盤研究 (C) (一般)

研究代表者 : 吉村 建

研究分担者 : 山際伸一

研究分担者 : 土田智子

課題名 : ワンショット舌粘膜立体視診査システムの開発

金 額 : 4290 千円

研究期間 : 2020 年～2023 年. 期間延長申請

令和6年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和7年3月31日現在)

氏 名 加藤 千景

学 位 博士(歯学)

1. 研究テーマ

1. Er:YAG レーザー切削した象牙質面の微細構造分析とレジン接着強さの検討 Micromorphology analysis of deciduous dentins abraded with Er:YAG laser and investigation of their bond strength to resin composite
2. 舌苔が全身に及ぼす影響と舌苔除去による口臭抑制方法について(専攻研究指導) Effect of Tongue Gloss on the Whole Body and Halitosis Control by Tongue Gloss Removal

2. 今年度の研究計画

科学研究費採択のため、課題を遂行する。

3. 対外的活動(学外講義・学会活動など)

1) 他大学での講義

記載事項なし

2) 学会活動(査読、理事、評議員など)

記載事項なし

3) 公的な委員会等

記載事項なし

4. 研究業績

A 著 書

記載事項なし

B 原 著

記載事項なし

C 総 説・解 説

記載事項なし

D 報 告(臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等)・紀 要

記載事項なし

E 翻 訳

記載事項なし

F 学術大会(口演・ポスター発表)・講演会・研修会・研究会等での講演

1. 小野幸絵, 小松崎明, 嵐聖芽, 加藤千景, 煤賀美緒, 鴨田 剛司. 歯科通院者の他科の通院病名について 国民生活基礎調査匿名データによる検討. 第 73 回日本口腔衛生学会学術大会, 岩手県, 2024 年 5 月 10 日～12 日.
2. 大島夕佳, 大森みさき, 加藤千景, 宮崎晶子, 今井あかね. 舌苔が全身に及ぼす影響と舌苔除去による口臭抑制方法について. 第 56 回歯科衛生研究会, 新潟県, 2025 年 2 月 19 日
3. 三富加奈子, 関口博一, 加藤千景, 長谷川 優, 浅沼直樹, 吉村 建, 土田智子, 宮崎晶子, 小松崎 明. 高校生を対象とした新潟短期大学歯科技工学科志望調査の結果について. 第 56 回歯科衛生研究会, 新潟県新潟市, 2025 年 2 月 19 日

G 特別講演・シンポジウム等での講演

特記事項なし

令和6年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和7年3月31日現在)

氏 名 池田 裕子

1. 研究テーマ

- 1) 歯科ユニットにおける拭掃状況の可視化について（専攻研究指導）

2. 今年度の研究計画

- 1) 歯科ユニットにおける拭掃状況の可視化について（専攻研究指導）
歯科診療後の拭掃状況と臨床経験の関係性について、拭掃状況を可視化する方法を検討し評価する専攻科生の研究を指導した。第56回歯科衛生研究会にて発表を行った（2025年2月19日専攻科生発表）。

3. 対外的活動（学外講義・学会活動など）

- 1) 他大学での講義

該当なし

- 2) 学会活動（査読、理事、評議員など）

該当なし

- 3) 公的な委員会等

- (1) (一社) 新潟県歯科衛生士会 理事

4. 研究業績

A 著 書

該当なし

B 原 著

- 1) 1) Akira Komatsuzaki, Sachie Ono, Kanako Mitomi, Kiyoka Arashi, Yukika Enoki, Kanako Seino, Naru Komatsuzaki and Yuuko Ikeda. A study of the factors impeding proper dietary habits: An investigation using the Japanese Comprehensive Survey of Living Conditions. MDPI

C 総説・解説

該当なし

D 報告（臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等）・紀要

該当なし

E 翻訳

該当なし

F 学術大会（口演・ポスター発表）・講演会・研修会・研究会等での講演

- 1) 本間浩子, 平野真澄, 榎 志佳, 平野恵実, 松木奈美, 山崎明子, 池田裕子, 猪子芳美, 小根山隆浩, 水谷太尊: 某病院における鋭利な器具刺しインシデントの現状と対策 第 19 回日本歯科衛生学会学術大会, 新潟県, 2024 年 9 月 21 日～23 日
- 2) 宮崎晶子, 長谷川優, 土田智子, 元井志保, 煤賀美緒, 嵐聖芽, 榎志佳, 清野可那子, 池田裕子: 視知覚パターンを活用した教育法の確立～インストラクターの経験差による眼球運動の比較～, 日本歯科衛生教育学会第 15 回学術大会, 大阪府, 2024 年 11 月 30 日～12 月 1 日.
- 3) 圓山史織, 池田裕子, 松岡恵理子, 宮崎晶子: 歯科ユニットにおける拭掃状況の可視化について, 第 56 回歯科衛生研究会, 新潟県, 2025 年 2 月 19 日.

G 特別講演・シンポジウム等での講演

該当なし

H. その他

- 1) 研究費の名称: デンタルプロ株式会社

種類: 継続

研究期間: 2024 年 10 月 1 日～2025 年 9 月 30 日

研究課題名: 歯間ブラシの選択サイズと使用時にかける圧(力)との関係解析～顎模型を用いた適正圧の探索～

研究代表者: 宮崎晶子

研究分担者: 土田智子, 池田裕子, 元井志保, 煤賀美緒, 嵐 聖芽, 榎志佳, 清野可那子, 両角祐子, 高塩智子

一課題あたりの総取得額: 30 万

- 2) 研究費の名称: デンタルプロ株式会社

種 類 : 継 続

研究期間 : 2024 年 10 月 1 日～2025 年 9 月 30 日

研究課題名 : 歯間ブラシ使用時にかかる負荷(力)の分析と評価方法探索
～ 口腔負荷視点からの適正圧探索 ～

研究代表者 : 両角祐子

研究分担者 : 高塩智子, 宮崎晶子, 土田智子, 池田裕子, 元井志保, 煤賀美
緒, 嵐聖芽, 榎志佳, 清野可那子

一課題あたりの総取得額 : 30 万

令和6年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和7年3月31日現在)

氏 名 煤賀 美緒

学 位 学士(人間環境学)

1. 研究テーマ

1) 歯科衛生士のキャリア教育

Career education of dental hygienists

2) 習慣性咀嚼側の咀嚼能率の研究

Relationship between habitual chewing side and masticatory performance

3) 小児の摂食・嚥下行動における評価法の開発

Development of evaluation methods for children's eating and swallowing behavior

2. 今年度の研究計画

1) 歯科衛生学生におけるキャリア教育の適切な時期、方略、目標等を検討するために、大学歯科衛生士教育協議会加盟校の現状を調査し、日本歯科衛生教育学会学術大会にてポスター発表を行った。

2) 習慣性咀嚼側の咀嚼能率の関係性について、多角的に要因を検討した専攻科生の研究を指導した。研究結果は第56回歯科衛生研究会にて口頭発表を行った。また、日本歯科衛生学会雑誌へ論文投稿中である。

3) 小児期における異常嚥下癖等の現象を計画に把握するための測定法を開発すべく、日本学術振興会の基盤研究C(一般)の助成を受け研究を行っているが、今年度は11月より研究代表者の産休・育休により一時中断中である。

3. 対外的活動（学外講義・学会活動など）

1) 他大学での講義

- (1) 新潟市立木山小学校
- (2) 新潟市立日和山小学校
- (3) 新潟市立東特別支援学校

2) 学会活動（査読、理事、評議員など）

- (1) 北信越障害者歯科臨床研究会 幹事

3) 公的な委員会等

- (1) 高等教育コンソーシアム新潟 歯科系タスクフォース部会 委員
- (2) 全国大学歯科衛生士教育協議会 教育研究委員会 委員

4 研究業績

A 著 書

- 1) 煤賀美緒（分担）：Chapter5 保健・医療・福祉のしくみ．小松崎明、藤井一維、浅沼直樹、大島克郎、永田秀樹 監修：歯学生のための健康科学 第4版，一世出版株式会社，東京，2025，35-58. ISBN 978-4-87078-212-9.

B 原 著

- 1) 星野紗波，煤賀美緒，長谷川優．マルチブラケット装置装着者の口腔内への関心度およびプラーク付着量の変化について．○日口腔保健誌．2024；14（1）：1-8.
- 2) 元井志保，長谷川優，嵐 聖芽，煤賀美緒，浅沼直樹，小松崎明．歯科衛生士の職業アイデンティティ形成に対する医療職に従事する近親者の有無の影響．○全国大学衛生士教協会誌．2025；14：46-56.

C 総 説・解 説

特記事項なし

D 報 告（臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等）・紀 要

特記事項なし

E 翻 訳

特記事項なし

F 学術大会（口演・ポスター発表）・講演会・研修会・研究会等での講演

- 1) 煤賀美緒, 長谷川優, 犬飼順子, 市川順子. 歯科衛生士の教育とキャリアパス 歯科衛生学生のキャリア開発プログラムに関するアンケート調査からの考察. 第 15 回日本歯科衛生教育学会学術大会, 大阪府, 2024 年 11 月 29 日～12 月 1 日.
- 2) 宮崎晶子, 長谷川優, 土田智子, 元井志保, 煤賀美緒, 嵐聖芽, 清野可那子, 両角祐子, 田増章吾, 佐野晃. 歯間ブラシの適正サイズに関する研究 第 2 報歯間ブラシのブラシ圧と測定方法の検討. 日本歯科衛生士学会 第 19 回学術大会, 新潟県, 2024 年 9 月 21 日～23 日.
- 3) 宮崎晶子, 長谷川優, 土田智子, 元井志保, 煤賀美緒, 嵐聖芽, 榎志佳, 清野可那子, 池田裕子. 視知覚パターンを活用した教育法の確立～インストラクターの経験差による眼球運動の比較～. 日本歯科衛生教育学会第 15 回学術大会, 大阪府, 2024 年 11 月 30 日～12 月 1 日.
- 4) 嵐聖芽, 宮崎晶子, 長谷川優, 土田智子, 元井志保, 煤賀美緒, 榎志佳, 両角祐子, 田増章吾, 佐野晃. 歯間ブラシの適正サイズに関する研究 第 1 報 顎模型への挿入サイズとアンケート調査. 日本歯科衛生士学会第 19 回学術大会, 新潟県, 2024 年 9 月 21 日～23 日.
- 5) 元井志保, 長谷川優, 煤賀美緒, 嵐聖芽, 土田智子, 宮崎晶子, 浅沼直樹. 歯科衛生学生の職業アイデンティティ形成に与える影響 医療に従事する近親者の有無の比較. 日本歯科衛生士学会第 19 回学術大会, 新潟県, 2024 年 9 月 21 日～23 日.
- 6) 小野幸絵, 小松崎明, 嵐聖芽, 加藤千景, 煤賀美緒, 鴨田 剛司. 歯科通院者の他科の通院病名について 国民生活基礎調査匿名データによる検討. 第 73 回日本口腔衛生学会学術大会, 岩手県, 2024 年 5 月 10 日～12 日.
- 7) 小松崎明, 小野幸絵, 元井志保, 煤賀 美緒. フッ化物歯面塗布の保険請求状況の地域差に関する検討 NDB オープンデータによる都道府県間の

比較. 第 73 回日本口腔衛生学会学術大会, 岩手県, 2024 年 5 月 10 日～12 日.

8) 田中桜良, 煤賀美緒, 長谷川優. 習慣性咀嚼側と咀嚼能率の関係について. 第 56 回歯科衛生研究会, 新潟県, 2025 年 2 月 19 日.

G 特別講演・シンポジウム等での講演
特記事項なし

H. その他

1) 外部研究費

(1) 研究費の名称: デンタルプロ株式会社

種 類 : 継 続

研究期間 : 2024 年 10 月 1 日～2025 年 9 月 30 日

研究課題名: 歯間ブラシの選択サイズと使用時にかける圧(力)との関係
解析～ 顎模型を用いた適正圧の探索 ～

研究代表者: 宮崎晶子

研究分担者: 土田智子, 池田裕子, 元井志保, 煤賀美緒, 嵐 聖芽, 榎
志佳, 清野可那子, 両角祐子, 高塩智子

一課題あたりの総取得額: 30 万

(2) 研究費の名称: デンタルプロ株式会社

種 類 : 継 続

研究期間 : 2024 年 10 月 1 日～2025 年 9 月 30 日

研究課題名: 歯間ブラシ使用時にかかる負荷(力)の分析と評価方法探索
～ 口腔負荷視点からの適正圧探索 ～

研究代表者: 両角祐子

研究分担者: 高塩智子, 宮崎晶子, 土田智子, 池田裕子, 元井志保, 煤賀美緒, 嵐聖芽, 榎志佳, 清野可那子

一課題あたりの総取得額: 30 万

2) 科学研究費

(1) 令和 6 年度 基盤研究 (C) (一般)

研究代表者: 元井志保

研究分担者: 小松崎明, 煤賀美緒

課題名: 小児の摂食・嚥下行動における評価法の開発
ーピエゾ端子法による異常嚥下の把握ー

金 額：3900 千円

研究期間：2024 年～2026 年.

(代表者育休につき中断中，2026 年再開予定)

令和6年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和7年3月31日現在)

氏 名 嵐 聖芽
学 位 学士(口腔保健学)

1. 研究テーマ

1) 歯間ブラシの挿入感と挿入圧に関する研究

Research on insertion feeling and insertion pressure of interdental brush

2) 国産純正ハチミツとマヌカハニーによる口腔内細菌への抗菌効果について

About the antibacterial effect of domestic genuine honey and Manuka honey on oral bacteria

3) 地域高齢者を対象とした口腔機能向上をテーマとする保健活動の展開

Prevention of oral dysfunction activities for community elderly people

2. 今年度の研究計画

1) 歯間ブラシの挿入感と挿入圧に関する研究

本調査では歯科衛生士に臨床の場において指導での感覚をもとに顎模型への歯間ブラシの挿入感を記入いただく調査を行い、機械的に挿入して測定した挿入圧との関連性を明らかにした。第19回日本歯科衛生学会学術大会にポスター発表を行った(2024年9月2日演題)。

2) 国産純正ハチミツとマヌカハニーによる口腔内細菌への抗菌効果について

4種類の国産純正マヌカハニーを使用し、ディスク拡散法でう蝕病原菌、歯周病

原菌に対する抗菌作用について検討する専攻科生の研究を指導した。研究結果は第56回歯科衛生研究会にて口頭発表を行った。(2025年2月専攻科生発表)

3) 地域高齢者を対象とした口腔機能向上をテーマとする保健活動の展開

セルフ唾液腺マッサージと口腔体操の講話、および希望者に対しては赤外線サーモグラフィーの体験会を実施し、質問紙調査により唾液分泌等に関する調査を実施した。また、研究協力への同意者12名には冷却負荷法による熱

画像測定を、InfRec Thermo FLEX F50（日本アビオニクス社・東京）で実施し、地域保健活動で用いた事例について 2024 年 6 月 2 日に日本歯科大学歯学会大会にてポスター発表を行った。

3. 対外的活動（学外講義・学会活動など）

1) 他大学での講義

該当なし

2) 学会活動（査読、理事、評議員など）

該当なし

3) 公的な委員会等

該当なし

4 研究業績

A 著 書

該当なし

B 原 著

元井志保，長谷川優，嵐 聖芽，煤賀美緒，浅沼直樹，小松崎明．歯科衛生士の職業アイデンティティ形成に対する医療職に従事する近親者の有無の影響．○全国大学衛生士教協会誌．2025；14：46-56．

Akira Komatsuzaki, Sachie Ono, Kanako Mitomi, Kiyoka Arashi, Yukika Enoki, Kanako Seino, Naru Komatsuzaki and Yuuko Ikeda. A study of the factors impeding proper dietary habits: An investigation using the Japanese Comprehensive Survey of Living Conditions. MDPI

C 総 説・解 説

該当なし

D 報 告（臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等）・紀 要

該当なし

E 翻 訳

該当なし

F 学術大会（口演・ポスター発表）・講演会・研修会・研究会等での講演

1. 小野幸絵, 小松崎明, 嵐聖芽, 加藤千景, 煤賀美緒, 鴨田 剛司. 歯科通院者の他科の通院病名について 国民生活基礎調査匿名データによる検討. 第73回日本口腔衛生学会学術大会, 岩手県, 2024年5月10日～12日.
2. 嵐 聖芽, 小松崎 明, 榎 志佳, 清野 可那子, 小野幸絵, 浅沼直樹, 加藤千景, 地域高齢者を対象とした口腔機能向上をテーマとする保健活動の展開, 日本歯科大学歯学会大会, 東京, 2024年6月2日（ポスター発表）
3. 元井志保, 長谷川優, 煤賀美緒, 嵐 聖芽, 土田智子, 宮崎晶子, 浅沼直樹, 医療職に従事する近親者の有無が歯科衛生学生の職業アイデンティティ形成過程に与える影響, 日本歯科衛生学会学術大会, 新潟, 2024年9月21日（ポスター発表）
4. 嵐 聖芽, 宮崎晶子, 長谷川優, 土田智子, 元井志保, 煤賀美緒, 榎 志佳, 両角祐子, 田増章吾, 佐野 晃, 歯間ブラシの適正サイズに関する研究 第1報 顎模型への挿入サイズとアンケート調査, 日本歯科衛生学会学術大会, 新潟, 2024年9月21日（ポスター発表）
5. 宮崎晶子, 長谷川優, 土田智子, 元井志保, 煤賀美緒, 嵐 聖芽, 清野可那子, 両角祐子, 田増章吾, 佐野 晃, 歯間ブラシの適正サイズに関する研究 第2報 歯間ブラシのブラシ圧と測定方法の検討, 日本歯科衛生学会学術大会, 新潟, 2024年9月21日（ポスター発表）
6. 小松崎 明, 小野幸絵, 八木 南, 榎 志佳, 清野可那子, 小松崎 成, 嵐聖芽, 鴨田剛司: 唾液腺マッサージ指導や咀嚼訓練を主体とした口腔機能向上事業の展開 第35回 甲信越北陸口腔保健研究会, 新潟県, 2024年10月26日
7. 宮崎晶子, 長谷川優, 土田智子, 元井志保, 煤賀美緒, 嵐聖芽, 榎志佳, 清野可那子, 池田裕子. 視知覚パターンを活用した教育法の確立～インス

トラクターの経験差による眼球運動の比較～. 日本歯科衛生教育学会第15回学術大会, 大阪府, 2024年11月30日～12月1日.

8. 竹田璃世, 土田智子, 嵐 聖芽, 今井あかね, 三上正人. 国産純正ハチミツとマヌカハニーによる口腔内細菌への抗菌効果について. 第56回歯科衛生研究会, 新潟, 2025年2月19日

G 特別講演・シンポジウム等での講演
該当なし

H. その他

1) 外部研究費

(1) 研究費の名称：デンタルプロ株式会社

種 類：継 続

研究期間：2024年10月1日～2025年9月30日

研究課題名：歯間ブラシの選択サイズと使用時にかける圧(力)との関係
解析～顎模型を用いた適正圧の探索～

研究代表者：宮崎晶子

研究分担者：土田智子, 池田裕子, 元井志保, 煤賀美緒, 嵐 聖芽, 榎
志佳, 清野可那子, 両角祐子, 高塩智子

一課題あたりの総取得額：30万

(2) 研究費の名称：デンタルプロ株式会社

種 類：継 続

研究期間：2024年10月1日～2025年9月30日

研究課題名：歯間ブラシ使用時にかかる負荷(力)の分析と評価方法探索
～口腔負荷視点からの適正圧探索～

研究代表者：両角祐子

研究分担者：高塩智子, 宮崎晶子, 土田智子, 池田裕子, 元井志保, 煤
賀美緒, 嵐聖芽, 榎志佳, 清野可那子

一課題あたりの総取得額：30万

令和6年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和7年3月31日現在)

氏 名 榎 志佳

学 位 学士(口腔保健学)

1. 研究テーマ

1) 口腔機能訓練についての研究

Research on oral function training.

2) ストレスによる心身への影響

The physical and mental effects of stress.

3) 高齢者の頬部体温変化と口腔機能の関係性について

About the relationship between changes in cheek body temperature and oral function.

4) 歯科衛生学生における口腔・咽頭吸引実習の教育効果

Effectiveness of oral and pharynx suction training in dental hygiene undergraduate education.

2. 今年度の研究計画

1) 口腔機能訓練についての研究

口腔機能向上に有効な訓練方法を検討するために、簡単に使用できる風船を用い、口唇閉鎖力と舌圧に影響を及ぼすのかを調査し、日本口腔保健学雑誌に投稿した。

2) ストレスによる心身への影響

国民のストレス状況を把握し、日本口腔保健学雑誌に投稿した。

3) 高齢者の頬部体温変化と口腔機能の関係性について(専攻研究指導)

地域訪問にて頬部体温変化について測定を行い、画像解析および質問用紙調査から口腔機能の関係性について検討する専攻科生の研究を指導した。研究結果は第56回歯科衛生研究会にて口頭発表を行った。(2025年2月専攻科生発表)

4) 歯科衛生学生における口腔・咽頭吸引実習の教育効果

口腔・咽頭吸引実習後にアンケートを実施し、アンケート結果から実習の実施時期を検討した。2025 年 4 月口腔ケア学会においてポスター発表予定である。

3. 対外的活動（学外講義・学会活動など）

1) 他大学での講義

該当なし

2) 学会活動（査読，理事，評議員など）

該当なし

3) 公的な委員会等

該当なし

4 研究業績

A 著 書

B 原 著

- 2) 榎 志佳, 小松崎 成, 三富 加奈子, 清野 可那子, 関口 博一, 小松崎 明, 小野 幸絵：ストレスによる心身への影響に関する因果構造モデルの検討：国民生活基礎調査匿名データによる考察 A causal structural model for the effects of stress on physical and mental health: A discussion based on anonymized data from the Comprehensive Survey of Living Conditions 日本口腔保健学雑誌 第 14 巻 第 1 号 (2024)

- 3) Akira Komatsuzaki, Sachie Ono, Kanako Mitomi, Kiyoka Arashi, Yukika Enoki, Kanako Seino, Naru Komatsuzaki and Yuuko Ikeda. A study of the factors impeding proper dietary habits: An investigation using the Japanese Comprehensive Survey of Living Conditions. MDPI

C 総 説・解 説

該当なし

D 報 告（臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等）・紀 要

- 1) 榎志佳, 宮崎晶子, 今井あかね：風船トレーニングによる口唇閉鎖力および舌圧に対する影響，日口腔保健誌，14（1）：90-95，2024.

E 翻 訳

該当なし

F 学術大会（口演・ポスター発表）・講演会・研修会・研究会等での講演

1) 嵐 聖芽, 小松崎 明, 榎 志佳, 清野可那子, 小野幸絵, 浅沼直樹, 加藤千景: 地域高齢者を対象とした口腔機能向上をテーマとする保健活動の展開
Prevention of oral dysfunction activities for community elderly people 日本歯科大学歯学大会 2024 年 6 月 2 日

2) 嵐 聖芽, 宮崎晶子, 長谷川優, 土田智子, 元井志保, 煤賀美緒, 榎 志佳, 両角祐子, 田増章吾, 佐野 晃: 歯間ブラシの適正サイズに関する研究 第 1 報顎模型への挿入サイズとアンケート 第 19 回日本歯科衛生学会学術大会, 新潟県, 2024 年 9 月 21 日～23 日

3) 本間浩子, 平野真澄, 榎 志佳, 平野恵実, 松木奈美, 山崎明子, 池田裕子, 猪子芳美, 小根山隆浩, 水谷太尊: 某病院における鋭利な器具刺しインシデントの現状と対策 第 19 回日本歯科衛生学会学術大会, 新潟県, 2024 年 9 月 21 日～23 日

4) 宮崎晶子, 長谷川優, 土田智子, 元井志保, 煤賀美緒, 嵐 聖芽, 榎 志佳, 清野可那子, 池田裕子: 視知覚パターンを活用した教育法の確立 ～インストラクターの経験差による眼球運動の比較～, 日本歯科衛生教育学会第 15 回学術大会, 大阪府, 2024 年 11 月 30～12 月 1 日

5) 小松崎 明, 小野幸絵, 八木 南, 榎 志佳, 清野可那子, 小松崎 成, 嵐 聖芽, 鴨田剛司: 唾液腺マッサージ指導や咀嚼訓練を主体とした口腔機能向上事業の展開 第 35 回 甲信越北陸口腔保健研究会, 新潟県, 2024 年 10 月 26 日

6) 高橋 咲, 榎 志佳, 清野可那子, 小松崎 明: 頬部体温の変化と口腔機能との関連性についての研究 第 56 回歯科衛生研究会, 新潟県, 2025 年 2 月 19 日

G 特別講演・シンポジウム等での講演

H. その他

1. 外部研究費

1) 研究費の名称: デンタルプロ株式会社

種 類 : 継 続

研究期間 : 2024 年 10 月 1 日～2025 年 9 月 30 日

研究課題名: 歯間ブラシの選択サイズと使用時にかかる圧(力)との関係解析

～ 顎模型を用いた適正圧の探索 ～

研究代表者：宮崎晶子

研究分担者：土田智子，池田裕子，元井志保，煤賀美緒，嵐 聖芽，榎志佳，
清野可那子，両角祐子，高塩智子

一課題あたりの総取得額：30 万

2) 研究費の名称：デンタルプロ株式会社

種 類：継 続

研究期間：2024 年 10 月 1 日～2025 年 9 月 30 日

研究課題名：歯間ブラシ使用時にかかる負荷(力)の分析と評価方法探索

～ 口腔負荷視点からの適正圧探索 ～

研究代表者：両角祐子

研究分担者：高塩智子，宮崎晶子，土田智子，池田裕子，元井志保，煤賀美緒，
嵐聖芽， 榎志佳，清野可那子

一課題あたりの総取得額：30 万

令和6年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和7年3月31日現在)

氏 名 清野 可那子

学 位 学士(口腔保健学)

1. 研究テーマ

1) 視覚刺激および視聴覚刺激を用いた唾液分泌促進法の検討

Examination of salivary secretion promotion methods using visual and audiovisual stimulation

2) 頬部体温の変化と口腔機能との関連性についての研究(専攻研究指導)

2. 今年度の研究計画

1) 視覚刺激および視聴覚刺激を用いた唾液分泌促進法の検討

口腔乾燥へのケアのために、視覚刺激および視聴覚刺激を用いて唾液分泌を促進する方法を検討し、第64回日本唾液腺学会にて発表を行った(2024年12月7日)。

2) 頬部体温の変化と口腔機能との関連性についての研究(専攻研究指導)

頬部体温の変化と口腔機能との関連性について、画像解析および質問紙調査から口腔機能維持を検討する専攻科生の研究を指導した。第56回歯科衛生研究会にて発表を行った(2025年2月19日専攻科生発表)。

3. 対外的活動(学外講義・学会活動など)

1) 他大学での講義

- (1) 新潟市立木山小学校
- (2) 新潟市立日和山小学校
- (3) 新潟市立東特別支援学校

2) 学会活動(査読、理事、評議員など)

該当なし

3) 公的な委員会等

該当なし

4 研究業績

A 著 書

該当なし

B 原 著

1) 榎 志佳, 小松崎 成, 三富 加奈子, 清野 可那子, 関口 博一, 小松崎 明, 小野 幸絵: ストレスによる心身への影響に関する因果構造モデルの検討: 国民生活基礎調査匿名データによる考察 A causal structural model for the effects of stress on physical and mental health: A discussion based on anonymized data from the Comprehensive Survey of Living Conditions 日本口腔保健学雑誌 第 14 巻 第 1 号 (2024)

2) Akira Komatsuzaki, Sachie Ono, Kanako Mitomi, Kiyoka Arashi, Yukika Enoki, Kanako Seino, Naru Komatsuzaki and Yuuko Ikeda. A study of the factors impeding proper dietary habits: An investigation using the Japanese Comprehensive Survey of Living Conditions. MDPI

C 総 説・解 説

該当なし

D 報 告 (臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等)・紀 要
該当なし

E 翻 訳

該当なし

F 学術大会 (口演・ポスター発表)・講演会・研修会・研究会等での講演

1) 嵐 聖芽, 小松崎 明, 榎 志佳, 清野可那子, 小野幸絵, 浅沼直樹, 加藤千景: 地域高齢者を対象とした口腔機能向上をテーマとする保健活動の展開 Prevention of oral dysfunction activities for community elderly people 日本歯科大学歯学大会 2024 年 6 月 2 日 (ポスター発表)

2) 宮崎晶子, 長谷川優, 土田智子, 元井志保, 煤賀美緒, 嵐聖芽, 清野可那子, 両角祐子, 田増章吾, 佐野晃: 歯間ブラシの適正サイズに関する研究 第 2 報歯間ブラシのブラシ圧と測定方法の検討, 日本歯科衛生士学会第 19 回学術大会, 新潟県, 2024 年 9 月 21 日~23 日.

3) 相方恭子, 松岡恵理子, 澤田佳世, 星美幸, 大澤えり子, 加藤茉友子, 清野可那子, 猪子芳美, 石井瑞樹: 某大学病院の診療後の清掃における除菌洗浄剤の使用量に関する調査. 第 19 回日本歯科衛生学会学術大会, 新潟県, 2024 年 9 月 21 日～23 日

4) 小松崎 明, 小野幸絵, 八木 南, 榎 志佳, 清野可那子, 小松崎 成, 嵐 聖芽, 鴨田剛司: 唾液腺マッサージ指導や咀嚼訓練を主体とした口腔機能向上事業の展開 第 35 回 甲信越北陸口腔保健研究会, 新潟県, 2024 年 10 月 26 日

5) 宮崎晶子, 長谷川優, 土田智子, 元井志保, 煤賀美緒, 嵐聖芽, 榎志佳, 清野可那子, 池田裕子: 視知覚パターンを活用した教育法の確立～インストラクターの経験差による眼球運動の比較～, 日本歯科衛生教育学会第 15 回学術大会, 大阪府, 2024 年 11 月 30 日～12 月 1 日.

6) 清野可那子, 宮崎晶子, 今井あかね: 視覚刺激および視聴覚刺激を用いた唾液分泌促進法の検討, 第 64 回日本唾液腺学会学術集会, 東京都, 2024 年 12 月 7 日.

7) 高橋咲, 榎志佳, 清野可那子, 小松崎明: 頬部体温の変化と口腔機能との関連性についての研究. 第 56 回歯科衛生研究会, 新潟県, 2025 年 2 月 25 日.

G 特別講演・シンポジウム等での講演

該当なし

H. その他

1) 研究費の名称: デンタルプロ株式会社

種 類 : 継 続

研究期間 : 2024 年 10 月 1 日～2025 年 9 月 30 日

研究課題名: 歯間ブラシの選択サイズと使用時にかける圧(力)との関係解析
～ 顎模型を用いた適正圧の探索 ～

研究代表者: 宮崎晶子

研究分担者: 土田智子, 池田裕子, 元井志保, 煤賀美緒, 嵐 聖芽, 榎志佳,
清野可那子, 両角祐子, 高塩智子

一課題あたりの総取得額: 30 万

2) 研究費の名称：デンタルプロ株式会社

種 類 ：継 続

研究期間 ：2024 年 10 月 1 日～2025 年 9 月 30 日

研究課題名：歯間ブラシ使用時にかかる負荷(力)の分析と評価方法探索
～ 口腔負荷視点からの適正圧探索 ～

研究代表者：両角祐子

研究分担者：高塩智子，宮崎晶子，土田智子，池田裕子，元井志保，煤賀美
緒，嵐聖芽，榎志佳，清野可那子

一課題あたりの総取得額：30 万